

事業所名 Basic あいおん (放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和6 年

9 月

1 日

事業所理念	生活に必要とされる基礎・基本にポイントをしぼり、個々の発達段階に応じた支援を提供する。		
支援方針	物事に自ら取り組む姿勢や、コミュニケーション力、適応力など社会生活を送る上で必要なスキルをつけていけるよう支援する。		
営業時間	平日：9時15分～17時45分 土・祝・長期休暇：9時45分～16時30分 (年末年始、臨時休業あり)	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人 支 援	健康・生活	健康状態の把握、個人の特性を理解した上で、支援が出来るようにする。 年齢相応の生活・行動が意識できるように家庭と連携を取り、安定した自立を目指す。	
	運動・感覚	模倣訓練、集団行動、ストレッチなど様々な運動を通して体を動かす楽しさを味わえるようにする。 模倣やポディーイメージができるよう、少しずつ体を動かすことに慣らしていき、その中で反射神経や粗大運動面の育成を図る。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、道具の扱いや運動を通して様々な感覚を養っていく。	
	認知・行動	様々な道具に触れ、体験することで視覚、聴覚、触覚などの感覚を活性化させ、発達を促す支援を行う。 自立・就労に向け必要なスキルを実体験型で経験することで、体得できるよう支援する。	
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験から言葉の意味を結びつけるなど、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 文字・記号、絵カード、機器等を活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	
	人間関係 社会性	職員や他者とのかわりを通して、やり取りすることの楽しさや社会的マナーを身につけられるよう支援する。 就労に必要なスキル、所作、行動などを身につけていけるよう支援する。	
家族支援	事業所内面談において、成長の基盤となる家庭支援を安定・充実させるための相談援助を行う。保護者会等(不定期開催)で支援のポイントをレクチャーする。また、保護者同士が交流する機会を設ける。	移行支援	ここのニーズに応じて、学校等利用者の関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有を行う。
地域支援・地域連携	地域の放課後等デイサービス連絡会当情報共有の場へ参加し、連携を図る。	職員の質の向上	職員研修を実施し、支援力の向上を図る。支援前後にミーティングを実施し、情報共有をすることで統一支援を行う。
主な行事等	お仕事体験イベント・夏祭り・調理イベント・公共機関を使っでの外出イベントなど		